

「清流の国ぎふ森林・環境税」に関するアンケート調査結果

恵みの森づくり推進課

1 調査目的

県では、県民全体で豊かな森林や清らかな川の保全・再生を支えていくため、「清流の国ぎふ森林・環境税（以下、「県森林・環境税」という）」を導入し、水源林や里山林の整備、生物多様性や水環境の保全など「清流の国づくり」に資する事業に活用しています。

昨年度からは、県森林・環境税の課税期間を延長し、引き続き自然環境の保全・再生に取り組んでおり、来年4月からは、主として市町村が行う森林整備を推進するため、森林環境譲与税（仮）の導入が予定されています。

そこで、県森林・環境税に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の森林・環境施策の基礎資料とさせていただくために、ご意見を伺いました。

2 調査対象等

調査対象：県政モニター575人（うちインターネットモニター331人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成30年8月6日～8月20日

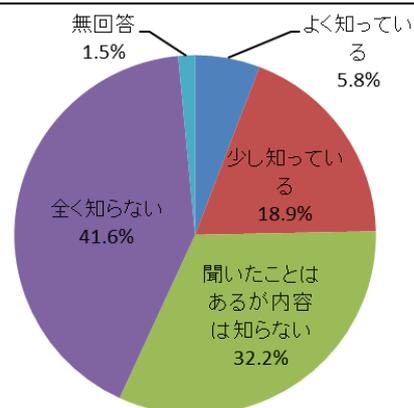
回収結果：466人（回収率81.0%）

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

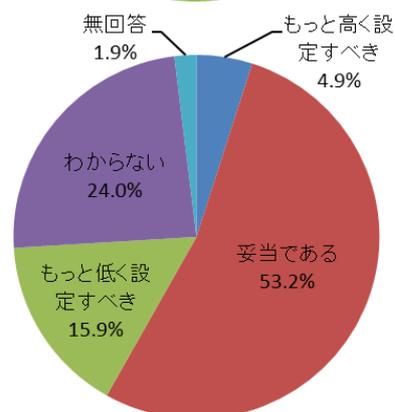
○県森林・環境税の認知度について

「県森林・環境税」の認知度は56.9%（「よく知っている」5.8%、「少し知っている」18.9%、「聞いたことはあるが内容は知らない」32.2%の合計）となっている。一方、「全く知らない」は41.6%となっている。



○県森林・環境税の使いみちについて

「県森林・環境税を活用した取組み」について、引き続き最も県で取り組んでほしいものは「環境を保全するため、水源林や里山林などの間伐を進める」が26.2%、次いで「自然生態系を保全・再生するため、野生鳥獣の捕獲や河川清掃を進める」が24.3%の順となっている。



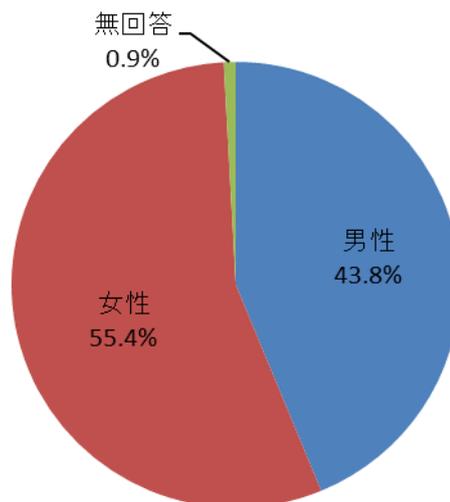
○県森林・環境税の税額（個人年額1,000円）について

「県森林・環境税の税額」について、「妥当である」が53.2%と最も高く、次いで「もっと低く設定すべき」が15.9%、「もっと高く設定すべき」が4.9%となっている。

4 回答者属性

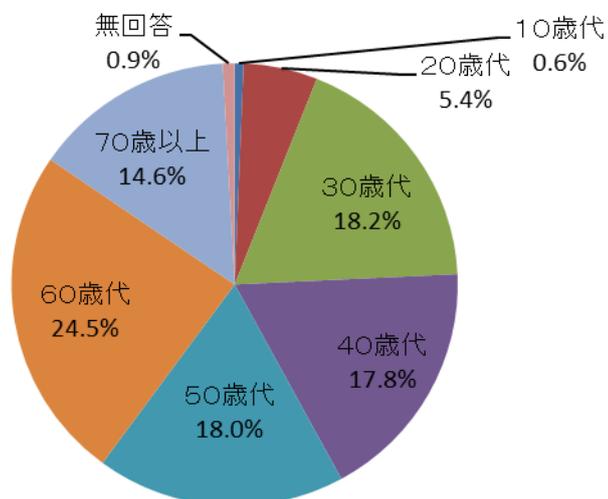
(1) 性別

	人数	割合
男性	204	43.8%
女性	258	55.4%
無回答	4	0.9%
合計	466	100.0%



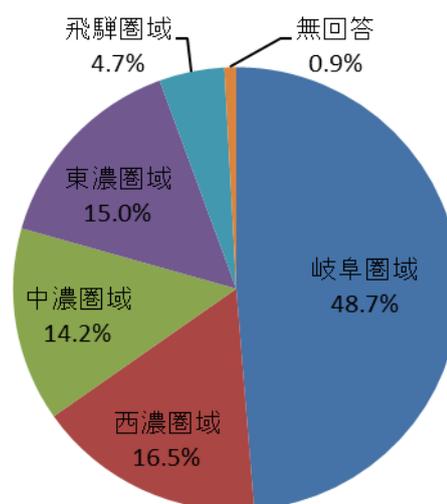
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	3	0.6%
20歳代	25	5.4%
30歳代	85	18.2%
40歳代	83	17.8%
50歳代	84	18.0%
60歳代	114	24.5%
70歳以上	68	14.6%
無回答	4	0.9%
合計	466	100.0%



(3) 居住圏域別

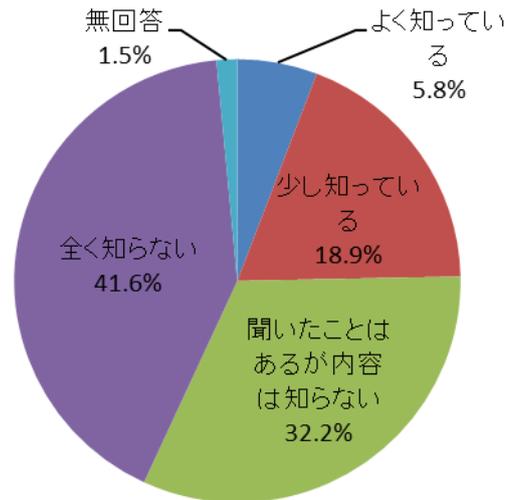
	人数	割合
岐阜圏域	227	48.7%
西濃圏域	77	16.5%
中濃圏域	66	14.2%
東濃圏域	70	15.0%
飛騨圏域	22	4.7%
無回答	4	0.9%
合計	466	100.0%



5 調査結果

問1 あなたは、県森林・環境税について
知っていますか。

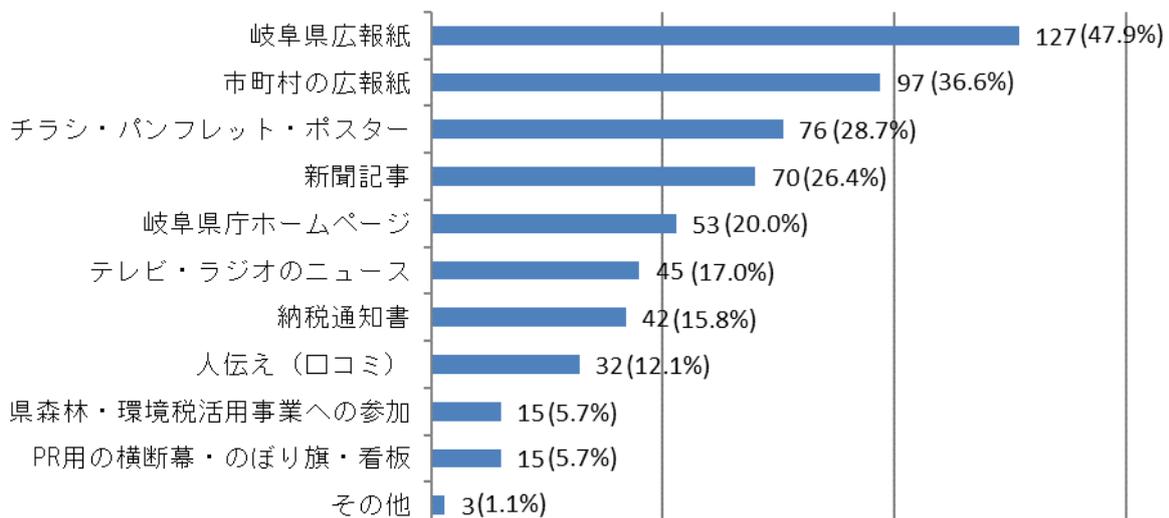
	人数	割合
よく知っている	27	5.8%
少し知っている	88	18.9%
聞いたことはあるが 内容は知らない	150	32.2%
全く知らない	194	41.6%
無回答	7	1.5%
合計	466	100.0%



問2 (問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)
あなたが、これまでに県森林・環境税について見たり聞いたりしたことのある媒体について、
あてはまるものをすべてあげてください。

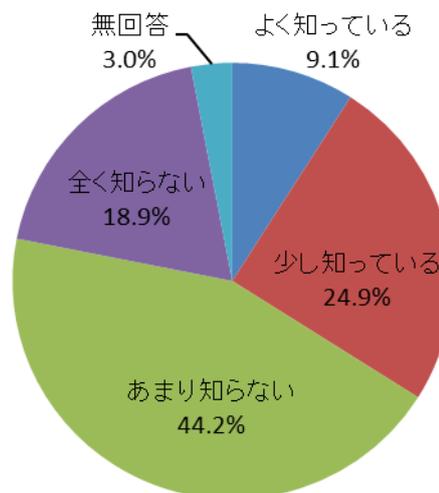
(複数回答) 回答者 265 人

	回答数	割合
岐阜県広報紙「岐阜県からのお知らせ」	127	47.9%
市町村の広報紙	97	36.6%
チラシ・パンフレット・ポスター	76	28.7%
新聞記事	70	26.4%
岐阜県庁ホームページ	53	20.0%
テレビ・ラジオのニュース	45	17.0%
納税通知書	42	15.8%
人伝て(口コミ)	32	12.1%
県森林・環境税活用事業への参加	15	5.7%
PR用の横断幕・のぼり旗・看板	15	5.7%
その他	3	1.1%
合計	575	



問3 (問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)
あなたは、県森林・環境税の使いみちをご存じですか。

	人数	割合
よく知っている	24	9.1%
少し知っている	66	24.9%
あまり知らない	117	44.2%
全く知らない	50	18.9%
無回答	8	3.0%
合計	265	100.1%

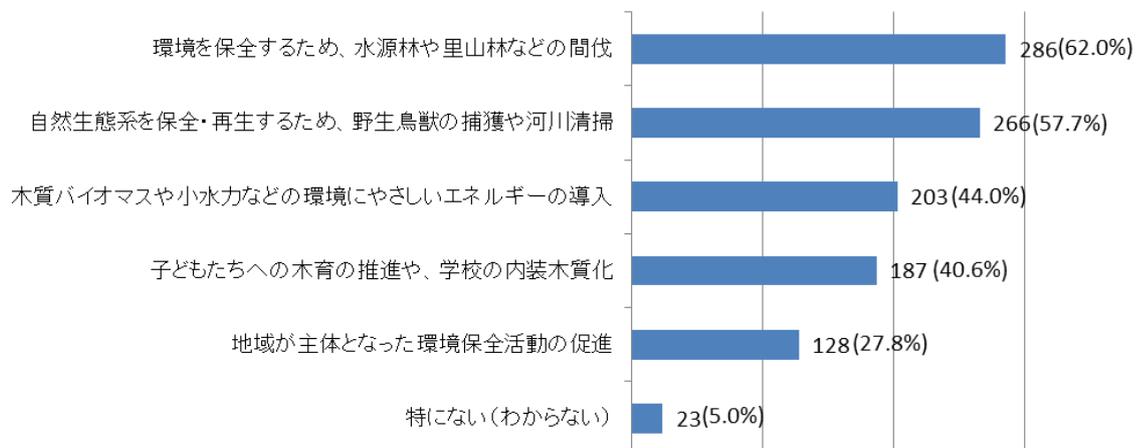


問4 県森林・環境税は、現在、森林づくりや、川づくり、水環境の保全などに関する取組みに活用されています。

このような取組みの中で、あなたが引き続き県に取り組んでほしいものについて、あてはまるものを3つまであげてください。

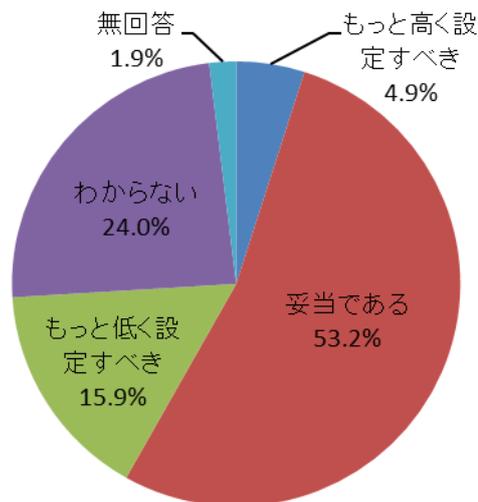
(複数回答) 回答者 461 人

	回答数	割合
環境を保全するため、水源林や里山林などの間伐を進める	286	62.0%
自然生態系を保全・再生するため、野生鳥獣の捕獲や河川清掃を進める	266	57.7%
木質バイオマスや小水力などの環境にやさしいエネルギーの導入を進める	203	44.0%
子どもたちへの木育の推進や、学校の内装木質化などを進める	187	40.6%
地域の住民が主体的に環境保全活動を進める	128	27.8%
特にない (わからない)	23	5.0%
合計	1,093	



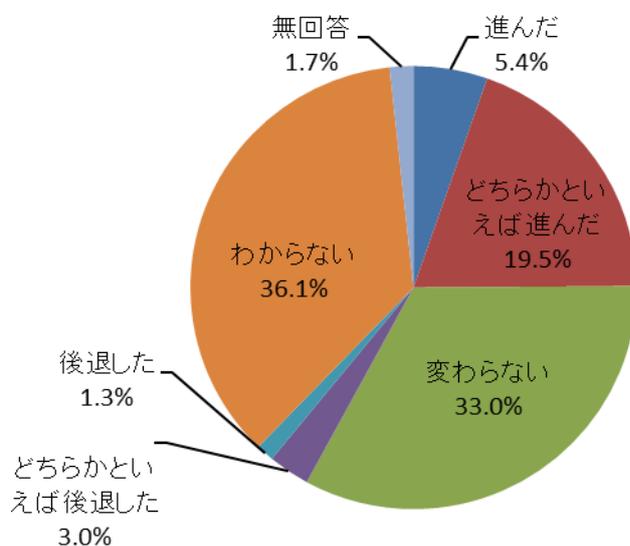
問5 県森林・環境税は、現在、県内に住所のある方、県内に家屋等を持っている方から、お一人あたり年額1,000円をいただいています。この税額について、あなたはどうお考えですか。

	人数	割合
もっと高く設定すべき	23	4.9%
妥当である	248	53.2%
もっと低く設定すべき	74	15.9%
わからない	112	24.0%
無回答	9	1.9%
合計	466	99.9%



問6 近年、森林や川、水環境、生物多様性、自然環境に関する県の施策は進んだと感じますか。

	人数	割合
進んだ	25	5.4%
どちらかといえば進んだ	91	19.5%
変わらない	154	33.0%
どちらかといえば後退した	14	3.0%
後退した	6	1.3%
わからない	168	36.1%
無回答	8	1.7%
合計	466	100.0%



問7 その他、森林や自然環境に関する県の施策に対して、ご意見などがございましたら、お聞かせください。(回答数 71 件)

【主な意見】

(広報・PRについて)

- 税金の使い道がよくわからないので、もっとPRしてほしい。それによっては金額を増やしてもよいのでは。
- 今ひとつ活動状況がわかりません。毎年税を徴収されているものの、使い道のビフォー・アフターを目で見られる、耳に入る環境が必要だと思います。
- 国税としての森林環境税が創設される方向の中、県税との違いや分担をわかりやすく発信いただきたい。
- 県森林・環境税を知らない県民の人たちが多いと思う。もっと「緑豊かな清流の国ぎふづくり」をPRして、その必要性を理解してもらう必要がある。

(問題提起)

- このままの感じでは、少しずつ悪くなるような気がします。手遅れになる前にこのような施策に予算を付けて、他の予算を減らすことが大事ではないかと。または、税の在り方をしっかり考え直すべきではないかと思います。

(使途について)

- 土砂災害防止のために、杉や檜の間伐をもっと進めていただきたい。
- まだまだ森林の整備が進んでいないので、河川の整備とともに進めていただきたい。
- 岐阜県は河川が多いので、小水力発電を増やしてほしい。
- 有害鳥獣被害が多く、対策にもっと取り組んでいただきたい。

(その他)

- 自然災害が異常に増えている昨今、森林環境を整えて自然と共存共栄できるようにしていくことは、非常に重要であると思います。
- 周囲は山々の緑に囲まれ、空気も水も新鮮でおいしい。この美しい森林や自然環境も祖先から受け継いできた財産であり、また次世代に引き継ぐためにも「自然環境は何もせず当たり前で享受できるのではない」という認識の浸透が不可欠。県民一人ひとりの保全への理解と協力を得るまで、県も辛抱強くPR等で認識を促すことが重要と考えます。